

(お知らせ)

## 柏崎刈羽原子力発電所における使用済制御棒の点検状況について（続報）

平成 22 年 11 月 10 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所 7 号機の使用済燃料プールに保管している使用済ハフニウムフラットチューブ型制御棒<sup>\*1</sup> 1 本のタイロッド<sup>\*2</sup>の中央部 1 箇所、連続していないものの、ほぼ全周にわたって微細なひび（最大幅約 0.3mm）を確認したことから、当所 4 号機、5 号機、7 号機で保管している同型の使用済制御棒のタイロッドの外観点検を実施することとし、11 月 1 日から外観点検を行っておりますが、本日、7 号機の使用済制御棒 2 本に新たにひびを確認いたしました。

今回ひびが確認された 2 本の使用済制御棒のうちの 1 本（管理番号 015）にはタイロッドの中央部 1 箇所に、もう 1 本（管理番号 016）にはタイロッド中央部の 2 箇所に、それぞれほぼ全周にわたって、連続していないひび（最大幅約 0.3mm）が発生しております。

制御棒（管理番号 016）のひび 2 箇所では、タイロッドに溶接しているシース<sup>\*3</sup>のごく一部まで短いひびが繋がっておりますが、シースの大部分についてはひびがなく健全であることを確認しております。

なお、当所では、今回確認されたタイロッドからシース部分まで繋がっているひびの状態を踏まえても当該制御棒の構造健全性および制御棒挿入機能は確保されており、安全上の問題がないことを確認しております。

また、当所 7 号機では、現在、原子炉内において同型制御棒 25 本を使用しておりますが、11 月 6 日に、全挿入されている 2 本を除いた 23 本の同型制御棒について動作確認を実施した結果、正常に動作し異常はありませんでした。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

当所は、今後、引き続き、現在保管している同型の使用済制御棒の外観点検を実施して、同様のひびの有無の確認を行い、調査結果についてとりまとめてお知らせいたします。

以 上

**\* 1 ハフニウムフラットチューブ型制御棒**

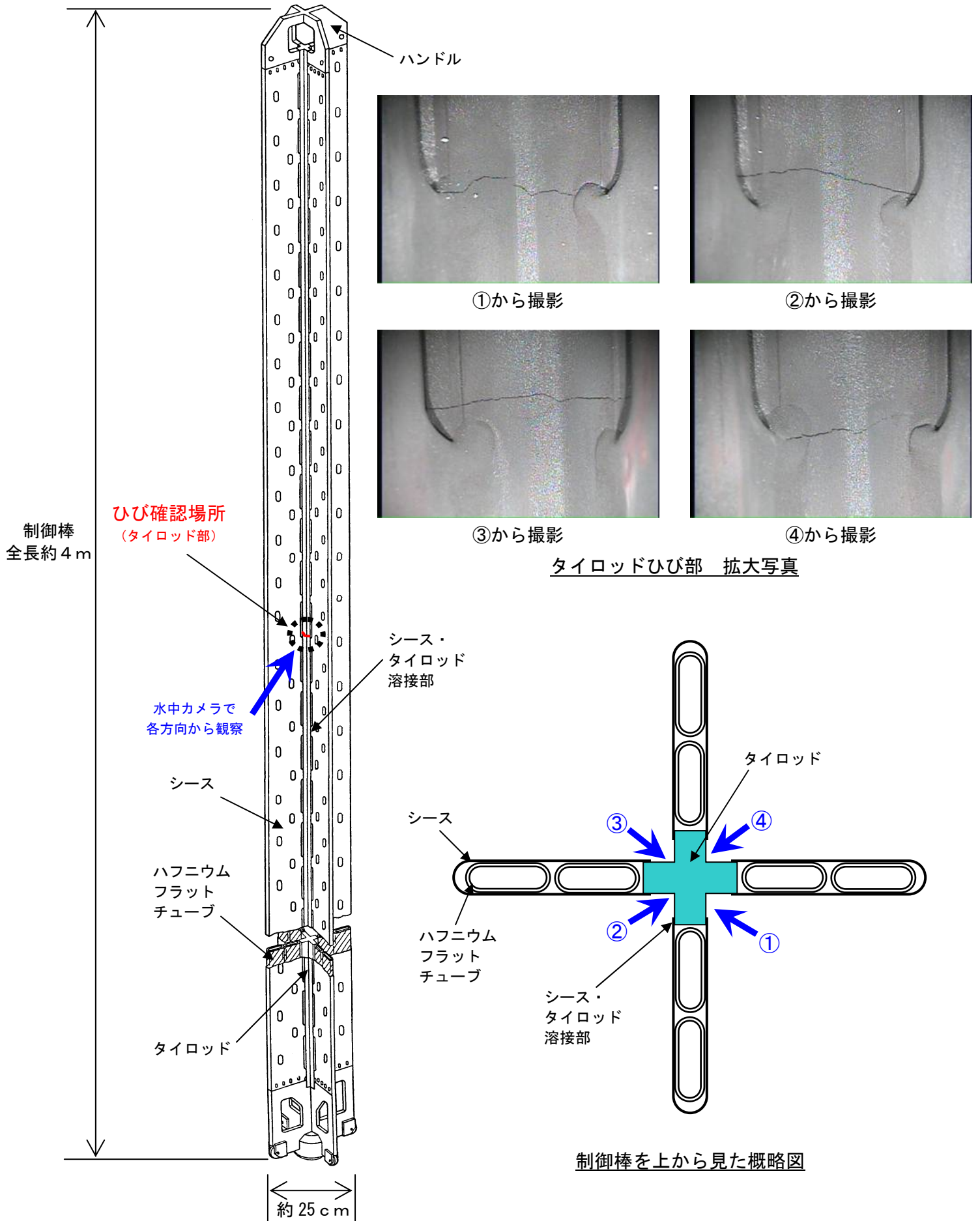
高い中性子吸収能力を有するハフニウムを、平たい筒状に成形して中性子吸収材として使用した制御棒。

**\* 2 タイロッド**

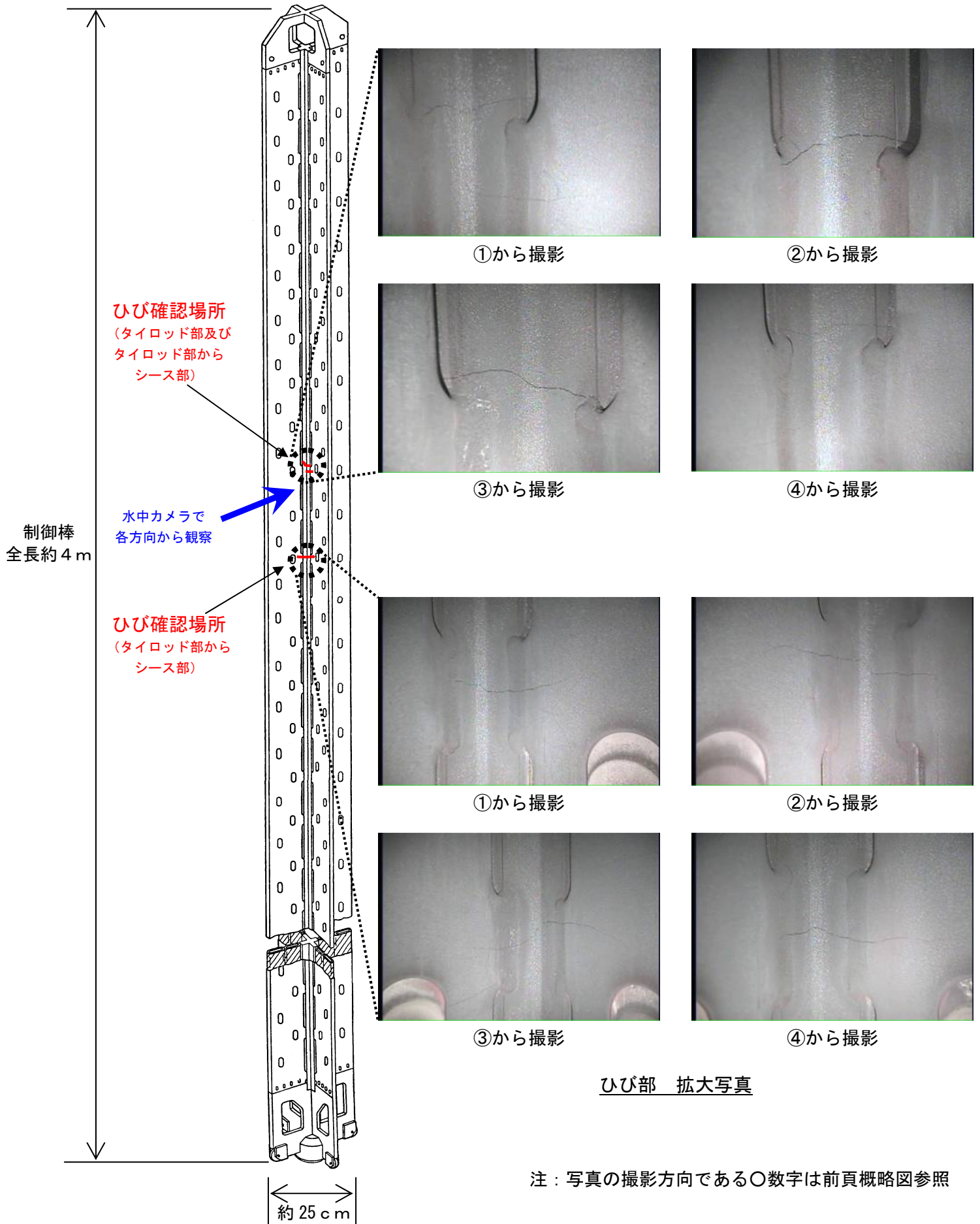
制御棒の構造部材の一つで、ハフニウムを包んでいる金属板（シース）やハンドルを接続しているもの。

**\* 3 シース**

制御棒の構造部材の一つで、ハフニウムを包んでいる金属板。



柏崎刈羽原子力発電所 7号機  
 使用済ハフニウムフラットチューブ型制御棒で確認されたひびの状況  
 (管理番号：015)



柏崎刈羽原子力発電所7号機  
 使用済ハフニウムフラットチューブ型制御棒で確認されたひびの状況  
 (管理番号：016)